

## 新しい農業への対応

チッソ旭肥料株式会社  
副 社 長 和 泉 明 生



明けましておめでとうございます。年頭にあたり、本年が読者の皆様方に実り多い年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

昨年をふりかえってみますと、社会面では阪神大震災、地下鉄サリン事件等の大事件が勃発した年であり、経済面では景気の低迷に加え、企業のリストラ等の影響をうけた学生の就職難、失業者増と明るさの少ない年でした。

このようなことから新しい年には景気の浮揚と明るい社会づくりをしてほしいと思います。

農業環境では、昨年はウルグアイ・ラウンドの決着にてすでにきまっていたミニマム・アクセスの初年度であり、一方新食糧法が11月から施行されました。今年も、農業においても新しい時代の新しい対応の進展が期待されます。

いま日本の農業は海外との関係においても、国内の他の産業との関係においても転換をせまられています。土地の集約化、農業法人化、省力化、農業資材費の低減等によるコストダウンが必要と云われています。農林水産省が主宰する農業生産資材問題検討会の中間報告の中の一つに、肥料について銘柄の集約と効率的生産、物流の効率化、施肥の合理化等が課題としてあげられました。私たち肥料メーカーは、農業の転換に側面から協力

させていただくこととなります。

それには、肥料のコストダウンは勿論のことですが、加えて農業生産者のニーズに応えた機能商品とその使い方を提供することが大切だと考えています。弊社では長年にわたり開発努力してまいりました機能商品の販売をしております。それは度々本誌紙面に登場しています被覆肥料の「ロング®」「LPコート®」をはじめ緩効性窒素肥料「CDU®」、泡状化成肥料「あさひポーラス®」、打込み肥料「グリーンパイル®」、育苗床土資材「与作®」等々であります。

これまでもこれらの使用技術について、各方面の方々の研究成果を本誌紙面に掲載させていただきましたが、今後も衆知を集めて、皆様とともに開発してゆきたいと思っております。その結果の積み重ねが生産性の向上とコストの低減に貢献できれば真に喜ばしいことでもあります。

皆様には、本誌「農業と科学」を長年ご愛読いただき感謝しております。今後更に一層創意工夫をこらして、紙面の充実を図り、いささかなりとも皆様のお役に立てばと考えています。

皆様のご多幸とご繁栄を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## 本 号 の 内 容

§ 新しい農業への対応..... 1

チッソ旭肥料株式会社  
副 社 長 和 泉 明 生

§ 夏秋なすも被覆肥料で全量基肥が可能に..... 5

岐阜県農業総合研究センター  
環境部 土壌環境科  
主任技師 高 橋 幸 蔵

§ ニラの施肥について..... 8

福島県園芸蚕糸課 特産加工係  
係 長 沼 田 光 夫  
(前 福島県農業試験場野菜部)